

1. 人物紹介(経歴)

1974年生まれ奈良県出身。1999年6月大阪大学医学部附属病院小児科に入局。国立大阪病院小児科で3年間の研修後、大阪府立母子保健センター、大阪大学医学部附属病院で血液腫瘍グループ、現在、国立病院機構大阪医療センター小児科に勤務、NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス理事長

- 趣味: お笑い
- 好きな作家: 吉本ばなな
- 好きな歌手: ゆず
- 将来の夢: 保育園の園長

2. 小児科を志した理由

世の中に困っている人はたくさんいるが、社会の絶対的弱者である子どもを助けることが、最も優先順位が高いと考えたから。

3. 子どもへの接し方

大人の理屈で説明せず、子どもの感覚で接するために、自分が子どものころに何を考えていたかを思い出すようにしています。

4. 保護者の皆様へ

困っていることは、一人で抱え込まず、どんどん発信してください。ネットの時代ですから簡単に発信できます。力になりたいと思っている方は、自分達が思っているよりも、かなりたくさんいます!

今回は 大阪府大阪市中央区!

1 大阪城

2 岩おこし(お菓子)

3 よしもと新喜劇



大阪といえは…?

など

最後に…

楠木先生は小児科医として、また、NPO法人チャイルド・ケモ・ハウスの理事長として日夜、小児がん患者が安心して化学療法を受けるための専門施設設立に向け東奔西走しています。毎回お会いするたびにその意気込みは熱く、正に不惜身命の思いで夢の施設建設に情熱を注いでいる「熱い」先生です。待っている患者さんがたくさんいらっしゃいます。夢の病院、早くできるといいですね…。

(聞き手) あしながケイ



「大人の理屈で説明せず、
子どもの感覚で接する」

楠木重範先生

NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス理事長
国立病院機構大阪医療センター小児科医師

わたしのまちのいしやさん
「楠木さん」とこの先生

大阪府大阪市中央区

『夢の病院』は家です。

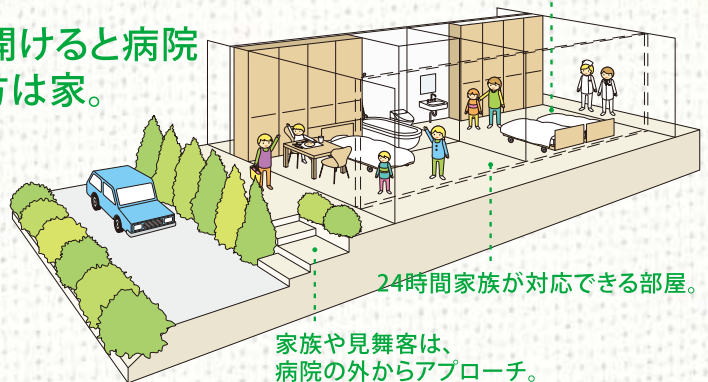
わずか2坪の空間。置き場所のないおもちゃや生活用品。

現在、小児がんの子どもたちは、この狭い空間で半年以上にわたって病と闘いながら、遊び、学び、そして心身ともに成長していかなくてはなりません。

NPO法人チャイルド・ケモ・ハウスでは「がんになっても笑顔で育つ!」をスローガンに自分の家のような環境で安心して治療を進めることができるように、治療中の子どもとその家族のQOL (Quality Of Life- 生活の質) に配慮した日本で初めての小児がん専門施設『夢の病院』の設立を目指し、活動しています。

小児がんに関する知識や現状の理解を広く啓発する目的で年に一回のイベントも開催しています。

片方を開けると病院 もう一方は家。



24時間家族が対応できる部屋。

家族や見舞客は、
病院の外からアプローチ。

(詳細はホームページ <http://www.kemohouse.jp> をご覧ください)

Kiss Times [キッスタイムズ] ~わたしのまちのいしやさん~

長谷川綿行はNPO法人チャイルド・ケモ・ハウス



を応援しています。

発行所: 株式会社長谷川綿行 kiss[キッス] 企画部
〒481-0013 愛知県北名古屋市二子四反地 977-2
お問合せ: TEL 0568-24-1911 FAX 0568-24-0466
ホームページ: <http://www.hasemen.co.jp>

Vol. 001 発行日 2011年6月1日

